

第 4 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

4 年 1 組 指 導 者 五 十 部 大 暁

単 元 要 約 の 仕 方 を 考 え よ う 「 世 界 に ほ こ る 和 紙 」

1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

言葉の働きに着目すること

2 本単元について

本学級の子どもたちは、説明的な文章の内容を、各段落の中心となる部分や段落相互の関係を基に捉えてきた。このような子どもたちが、言葉の働きの一つである「内容を伝える」という働き、すなわち、「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を追究していく。このことは、どのような種類の文章を要約する際でも、内容が伝わるように要約しようとするにつながるであろう。

本単元は、要約の仕方について話し合い、説明的な文章を要約する学習である。本教材「世界にほこる和紙」は、和紙を使ってほしいという筆者の考えが述べられた双括型の文章であり、「和紙の紹介と筆者の考え（初め）」「洋紙にはないよさ（中）」「和紙が自分の気持ちを表す方法の一つであること（中）」「筆者の考え（終わり）」の4つの意味段落に分けられる。子どもたちは、互いの要約を見合う中で、「意味段落ごとに内容の中心となる部分を見付けること」「自分で考えた言葉を用いること」といった要約の仕方を考えていくであろう。だが、要約の仕方をを用いても、文章の内容を短くまとめることだけを意識して要約すると、内容が伝わりにくくなることが考えられる。そこで、要約の仕方を考える際、「内容が伝わること」に着目していたことを自覚できるようにする。そうすることで、「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を考え、説明的な文章を要約することができるようになる。と考える。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 最初に要約した後に、互いの要約を見合い、要約の仕方を考えるよう促す。そうすることで、「内容が伝わること」に目を向けることができるようにする。【創】
- 要約の仕方の意図や要約するときに必要なことを問う。そうすることで、要約の仕方を考える際、「内容が伝わること」に着目していたことを自覚できるようにする。【受】
- 単元の後半に、他の説明的な文章を要約する場面を設定する。そうすることで、「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を考え、文章を要約することができるようにする。【転】

3 本単元の目標

- 「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を考え、説明的な文章を要約することができるようにする。
- 文章の内容が伝わるように要約しようとする態度を養うことができるようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○意味段落について理解している。	○内容の中心となる部分を見つけて要約している。	○「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を考えようとしている。

5 指導計画（全7時間）

第1次 「世界にほこる和紙」を読み、文章構成と内容を捉える（2時間）

第2次 要約の仕方について話し合い、「世界にほこる和紙」を要約する（3時間）【本時2／3】

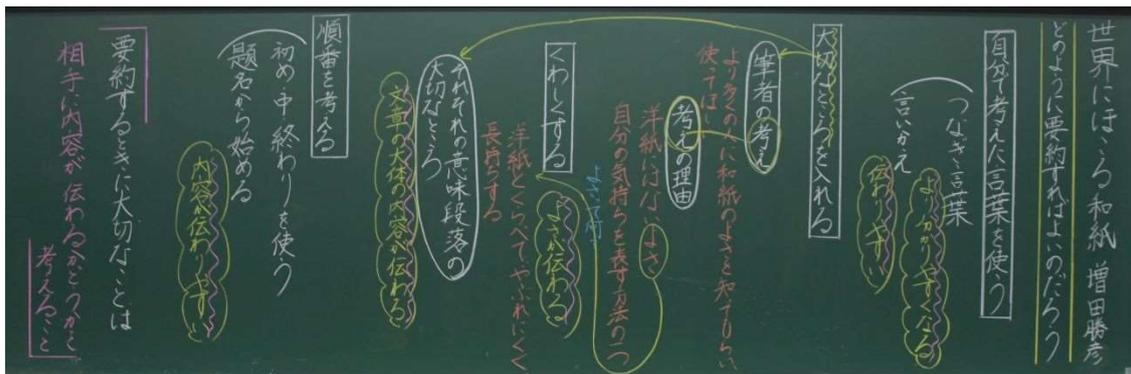
第3次 他の説明的な文章を要約する（2時間）

6 本時案 【令和3年10月29日 11:00~11:45 4年1組教室】

- (1) ねらい どのように要約すればよいかについて話し合うことをとおして、「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を考えることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 要約の仕方について話し合う。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考えた言葉を用いること 意味段落ごとに内容の中心となる部分を見付けること 	<p>A 前の時間に、6年生に向けた「世界にほこる和紙」の要約をBさんに伝えてみたけれど、うまく伝わらなかったな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どのように要約すればよいのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> みんなの要約を見ると、どのように要約すればよいか分かるかもしれないな。 つなぎ言葉を入れたり、自分の言葉で言い換えたりしている人がいるよ。 <p>A <u>そうか、文章中の言葉だけではなくて、自分で言葉を考えて使うのもよいのだね。</u></p> <p>B <u>どのように要約すればよいのか、他の班の人にも聞いてみたいな。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくは筆者の考えを入れたよ。筆者の考えが一番大切だから入れないといけないよ。 <p>C <u>わたしは筆者の考えの理由も入れたよ。そうすると、内容がより伝わりそうだよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの意味段落の大切などところを入れると文章の大体の内容が伝わると思うよ。 <p>A みんなの要約を見ると、どのように要約すればよいか分かってきたぞ。</p>	<p>○互いの要約を見合い、要約の仕方を考えるよう促す。そうすることで、「内容が伝わること」に目を向けることができるようにする。【創】</p> <p>○要約の仕方を発言した際、その意図を問う。そうすることで、「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方のよさに気付くことができるようにする。【受】</p>
<p>2 要約の仕方を考えるときに大切なことについて交流する。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「内容が伝わること」に着目すること 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>要約するときに大切なことは何だろう。</p> </div>  </div> <p>B <u>内容が伝わることだよ。どの要約の仕方も内容が伝わることに関係しているよ。</u></p> <p>A <u>そうか、短くまとめることだけを考えていたけれど、相手に内容が伝わるかどうかを考えて要約することが大切なのだね。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 次の時間は、6年生に内容が伝わるかどうかを考えて、もう一度要約してみよう。 	<p>○要約の仕方を考えるときに大切なことを問う。そうすることで、要約の仕方を考える際、「内容が伝わること」に着目していたことを自覚できるようにする。【受】</p>

(3) 板書計画



第 4 学 年 国 語 科 学 習 指 導 計 画

4 年 1 組 指 導 者 五 十 部 大 暁

2 2 M (7 時 間) が本時

学 習 活 動	子 ど も の 意 識
第 1 次 「世界にほこる和紙」を読み、文章構成と内容を捉える	6 M (2 時 間)
学 習 内 容 ・ 意味段落についての理解 (知)	
<input type="checkbox"/> 「世界にほこる和紙」を読み、文章構成について話し合う (3M) <input type="checkbox"/> 「世界にほこる和紙」の内容を捉える (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生が総合的な学習の時間に「日本の魅力」について学習しているそうだよ。和食や和服など日本の文化について調べているのだから。そこで、6年生から「世界にほこる和紙」の内容を教えてほしいと頼まれたのだね。6年生はこの文章を読んだことがないのか。よし、ぼくたちが内容を伝えよう。文章を読むと、和紙のよさや正倉院など多くのことが書かれていて、内容がつかめないな。まずは、「初め」「中」「終わり」に分けてみよう。「初め」や「終わり」には、筆者の考えが書かれているのだったね。2段落の「考えています」のところが筆者の考えだ。でも、10段落にも筆者の考えがあるよ。つまり、1、2段落が「初め」で10段落が「終わり」だね。でも、3段落に問いの文があるから3段落までが「初め」なのかな。どうなのだろう。 ・ 「初め」は何段落までなのかな。3段落の問いの文の答えとなる部分を探すとよさそうだね。「初め」にある問いの文なら文章全体に関係するはずだよ。問いの文の答えは4、5段落かな。6段落は「洋紙にはないよさ」の例だね。それに、7、8、9段落は「和紙が自分の気持ちを表す方法の一つであること」が書かれているよ。つまり、3段落の問いの文は文章全体には関係していないから、1、2段落が「初め」となるのか。3段落から9段落までが「中」となるのだけれど、「洋紙にはないよさ」と「和紙が自分の気持ちを表す方法の一つであること」で2つに分けられそうだね。同じ話題の段落のまとまりを「意味段落」というのか。「初め」「中」「終わり」に分けると内容が分かったぞ。次は6年生への伝え方を考えていこう。
第 2 次 要約の仕方について話し合い、「世界にほこる和紙」を要約する	
10 M (3 時 間)	
学 習 内 容 ・ 内容の中心となる部分を見つけて要約すること (思) ・ 「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を考えようとする (態)	
<input type="checkbox"/> 「世界にほこる和紙」を、分量を考えて要約する (3M) <input type="checkbox"/> 要約の仕方について話し合う (3M)	<ul style="list-style-type: none"> ・ この文章を6年生にどのように伝えるとよいのかな。6年生は細かい内容ではなく、文章の大体の内容を知りたいのだから。以前、映画の内容を短くまとめて、大体の内容を友達に伝えたことがあるよ。文章の内容も同じように短くまとめられそうだね。そのことを「要約」というのか。どのくらいの時間で伝えるとよいのかな。長すぎると内容が分かりにくくなるから、30秒くらいかな。30秒を目指して要約してみよう。30秒だと全ての内容は入れられないね。ユネスコのことは入れなくてもよいかな。でも、お年玉のことは入れよう。要約できたぞ。読んでみると25秒だよ。Bさんに聞いてもらおう。あれ、内容がよく伝わらないと言われたよ。それに、Bさんもどのように要約すればよいか困っているのだから。どのように要約すればよいのかな。 ・ 前の時間に、要約をBさんに伝えたけれど、うまく伝わらなかったな。どのように要約すればよいのだろう。みんなの要約を見ると分かるかもしれないな。つなぎ言葉を入れたり、自分の言葉で言い換えた

<p>□「内容が伝わること」に着目して、「世界にほこる和紙」を要約する (3M)</p> <p>□「世界にほこる和紙」の要約を6年生に伝える (1M)</p>	<p>りしているよ。文章中の言葉だけではなくて、自分で言葉を考えて使うのもよいね。他の班の人はどうかな。筆者の考えを入れたのか。それに、考えの理由も入れた人もいるのだね。それぞれの意味段落の大切などところを入れるとよいと言っている人もいるよ。そうすると文章の大体の内容が6年生に伝わりやすくなりそうだね。要約するとき、文章の内容を短くまとめることだけを考えていたけれど、相手に内容が伝わるかどうかを考えると大切なのだね。次の時間は、6年生に内容が伝わるかどうかを考えて、もう一度要約してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生に内容が伝わるかどうかを考えて要約しよう。それぞれの意味段落の中で大切などところを探そう。最初の意味段落で大切などところは「筆者の考えとその理由」だね。2つ目の意味段落で大切などところは「洋紙にはないよさ」と「よさが生まれる理由」だと思うよ。6年生は「日本の魅力」を学習しているから、和紙のよさを知りたいのではないかな。3つ目の意味段落で大切などところは「和紙が自分の気持ちを表す方法の一つであること」かな。最後の意味段落は、最初と同じで筆者の考えだね。大切などところが伝わるように、つなぎ言葉を入れたり、言い換えたりしてみよう。要約できたよ。読んでみると28秒だよ。Bさんに聞いてもらおう。内容がよく伝わったよと言ってもらえたよ。Bさんの要約も分かりやすいな。6年生に早く伝えたいね。 ・さあ、完成した要約を6年生に伝えるぞ。6年生に「文章の内容がよく分かったよ。和紙にはたくさんのよさがあるのだね。要約を聞かせてくれたから、次の総合的な学習の時間に生かすことができそうだよ。ありがとう。」と言われて嬉しかったよ。短い時間でも大切などところが伝わったね。他の場面でも文章を要約して伝えてみたいな。
<p>第3次 他の説明的な文章を要約する 6M (2時間)</p>	
<p>学習内容 ・内容の中心となる部分を見付けて要約すること (思)</p> <p>・「内容が伝わること」に着目して、要約の仕方を生かそうとすること (態)</p>	
<p>□山口県の伝統工芸品に関する文章を要約する (6M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次の社会科の授業で、山口県の伝統工芸品について紹介するよ。45分間で4年1組のみんなが発表するから、一人30秒程度にまとめる必要があるのだから。よし、要約の出番だね。今回は、4年1組のみんなに内容が伝わるかどうかを考えて要約しよう。ぼくは、大内塗について書かれた文章を要約しよう。まずは、大内塗がどのようなものかを伝える必要があるね。あ、大内塗の説明を見つけたよ。よし、ここを要約に入れよう。あと、大内塗のよさで大切などところは、文章の最初の方にある「漆の色が美しいこと」と「色あせしにくいこと」ではないのかな。この部分を中心にとすると、大内塗のよさが4年1組のみんなに伝わるのと思うよ。でも、大切などところを抜き出すだけでは伝わらないから、つなぎ言葉を入れたり、言い換えたりしてみよう。よし、要約できたぞ。読んでみると、28秒だよ。さあ、次の社会科の授業で大内塗を4年1組のみんなに紹介しよう。みんなに大内塗のよさが伝わるとよいな。これからもいろいろな文章を、相手に内容が伝わるかどうかを考えて要約してみよう。